学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	建築実務演習	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	建築法規（実教 工769）、建築施工（実教 工768）						
副教材等	建築基準法関係法令集						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築デザインを行うにあたって、実際に建築するに至るためには建築計画や建築意匠だけでなく、建築基準法や条例などとの合法性や建築工事をおこなうための契約、工事の流れなどの知識・理解が必要である。建築設計の計画段階で必要な実務的知識を学び設計者としての知識と技能を学ぶ。定期試験やレポート、演習課題で評価する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

建築物の施工について安全性や環境への配慮を踏まえて理解し、法的な側面からも安全性や快適性を踏まえて理解するようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

建築物の施工に関することや法的な側面から建築物に関する課題を発見し、技術者として科学的や法的根拠に基づき解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

安全で安心な建築物を計画、設計、施工及び管理する力の向上を目指して自ら学び、建築の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築法規や建築施工に関する基礎的な知識や技術を習得するとともに、建築行政の制度や実際の建築工事の現場を観察し、実習において実務的な技能を活用し、表現することができる。	建築法規や建築施工に関する基礎的な知識と技術をもとに建築行や建築生産技術について考え、また諸問題を発見し、その解決を目指して自ら思考を深め、適切に判断し、創意工夫する能力を身につけようとしている。	建築法規の必要性や建築施工に関する基礎的な知識と技術について関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、建築生産技術の意義や役割を理解し実際に活用しようとする創造的、実践的な態度を身につけようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	個々の建築物にかかわる規定	・建築基準法の用語、建築物の面積算定 ・建築物の採光、換気 ・建築物の高さ、階段、昇降機	a.建築の関連法規を包括的に学習し、建築物の構想の具現化に役立つ実践的な知識を身につけるとともに、建築法規のもつ意義や効果を理解し建築物の設計や施工にかかわる実際的な業務に必要となる建築法規に関する知識を活用できる。 b.都市生活における安全や生活環境を取り巻く諸問題の解決をめざす建築法規のもつ役割について、自らの思考を深め、実際的な事例に対して適切に判断し、建築の計画や設計など的確に表現できる。 c.建築物や都市生活の安全性、良好な都市環境を保つ観点などから、建築法規の必要性や諸問題などについて幅広く関心をもち、建築の計画や設計などの実践的な学習に役立てようとしている。	学習状況の観察	定期考査の結果等	・ノートやプリントの記述
		・防火と避難についての規定 ・内装制限・防火区画 ・避難のための対策				
2	都市環境について	・土地利用 ・道路と敷地 ・密度・形		学習状況の観察	定期考査の結果等	・ノートやプリントの記述
	建築行政	・建築確認・検査 ・特定行政庁と指定確認検査機関				
3	建築生産	・建築生産に携わる人々 ・建築工事（仮設工事、土工事、基礎工事） ・建築工事（主体工事、仕上工事） ・工程管理 ・工事契約	a.建築施工に関する各種の工法、工事管理、積算など基礎的な知識や技術を習得するとともに、実際の建築工事の現場を観察し、実習において実務的な技能を活用し、建築生産技術の意義や役割を理解しようとしている。 b.建築施工に関する基礎的な知識と技術をもとに実際の建築生産技術について考え、また諸問題を発見し、その解決を目指して自ら思考を深め、適切に判断し、創意工夫する能力を身につけようとしている。 c.建築施工に関する基礎的な知識と技術について関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的、実践的な態度を身につけようとしている。	学習状況の観察	定期考査の結果等	・ノートやプリントの記述

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度